

みついみなとくらぶ 三井港 倶楽部



- 規 模 木造二階建屋根部屋付、葺瓦葺、
洋館東西 38.18m、南北 26.51m
- 建 築 年 代 明治41年（1908年）建造
- 外 観 の 特 徴 屋根は矩折(かねお)れの勾配の切妻屋根が交差した2階屋根と傾斜の緩やかで大きな1階屋根の組合せが特徴。外壁は下見板張りに、柱形と梁・胴縁(どうぶち)の縦横線が方形をつくり、また、斜めと曲線の筋違(すじかい)が複雑なパターンを生むハーフチンバーが特徴。さらにガラスの嵌め込まれたベランダが水平線を強調している。
- 指 定 の 理 由 三井港倶楽部は、明治41（1908）年、三池港開港と同時に竣工・供用開始され、三池港に入港した船舶の船員に対しての休憩所として利用されていたもので、開港場として築かれた三池港の港湾整備のあり方を示す施設である。また、本物件は、当地に残る数少ない洋風木造建築であり、平成30年2月には老朽化が見られる部分の修繕・改修が行われたが、建物の歴史的価値は保全されており、外観・内装・調度品等もあわせ、往時を偲ばせる雰囲気有している。平成17(2005)年12月には、大牟田市指定文化財に指定されており、石炭とともに発展してきた大牟田繁栄の歴史を物語る貴重な施設である。
- 所 在 地 大牟田市西港町二丁目6番

